

平成27年度 第2回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概況>

業種によりばらつきがあるものの、全体的には受注量は減少傾向にある。一方で受注余力については、「余力あり」が「余力なし」を上回っているが、その差は縮まっている。

<業種別の特徴>

- (1)受注量 : 輸送用機器が増加、精密機器が減少。
- (2)受注見通し : 業種によるばらつきがあり、鉄鋼・非鉄が増加、精密機器が減少。
- (3)受注単価 : 下げ止まり傾向が続いている。
- (4)資金繰り : 「悪化」の傾向。電気機器で「悪化」増加。
- (5)採算状況 : 黒字減少傾向も大きな変化なし。
- (6)受注余力 : 「受注余力なし」が4割近くまで増加。

(注) 本報告書で使用するDIとはデフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成27年7月～9月
(平成27年9月末集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 285社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	35社	② 金属製品関係	45社
③ 一般機器関係	45社	④ 電気機器関係	45社
⑤ 輸送用機器関係	35社	⑥ 精密機器関係	40社
⑦ 樹脂製品関係	40社		

(3) 調査時点

平成27年9月30日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

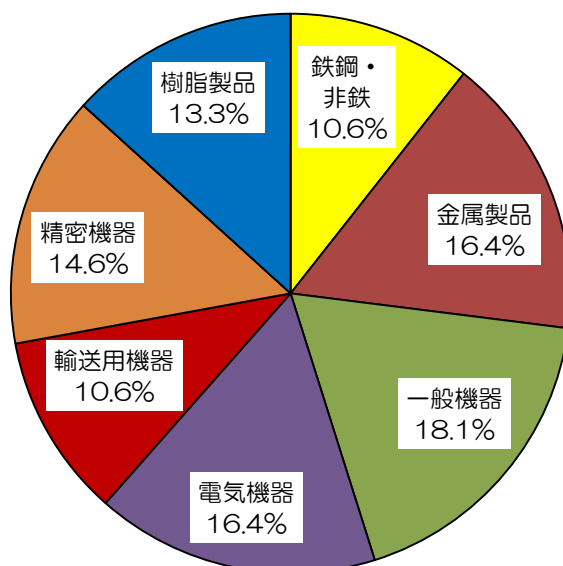
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	285社		
② 回答企業	226社		
③ 内訳			
	鉄鋼・非鉄関係	24社	(10.6%)
	金属製品関係	37社	(16.4%)
	一般機器関係	41社	(18.1%)
	電気機器関係	37社	(16.4%)
	輸送用機器関係	24社	(10.6%)
	精密機器関係	33社	(14.6%)
	樹脂製品関係	30社	(13.3%)
④ 回答率	79.3%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	6 2.7%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.7%
~300万円	17 7.5%	1 4.2%	3 8.1%	0 0.0%	1 2.7%	6 25.0%	3 9.1%	3 10.0%
301~999万円	12 5.3%	1 4.2%	3 8.1%	1 2.4%	0 0.0%	2 8.3%	2 6.1%	3 10.0%
1000~2000万円	124 54.9%	11 45.8%	26 70.3%	23 56.1%	23 62.2%	6 25.0%	19 57.6%	16 53.3%
2001~5000万円	49 21.7%	6 25.0%	5 13.5%	15 36.6%	8 21.6%	4 16.7%	6 18.2%	5 16.7%
5000万円超	18 8.0%	3 12.5%	0 0.0%	2 4.9%	3 8.1%	6 25.0%	3 9.1%	1 3.3%
合 計	226 100%	24 100%	37 100%	41 100%	37 100%	24 100%	33 100%	30 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

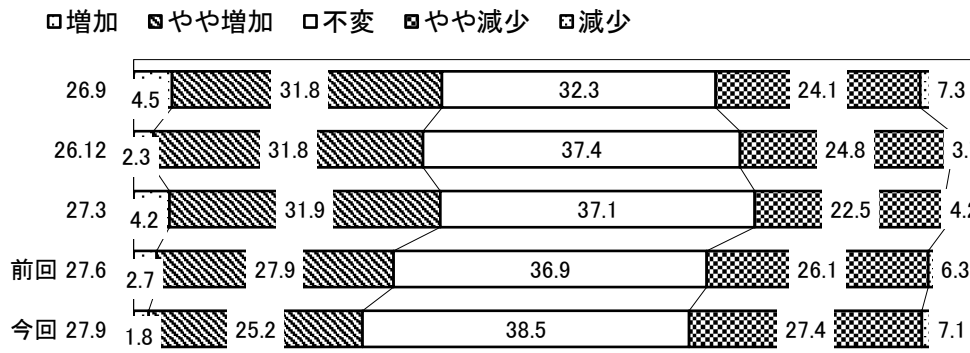
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	19 8.4%	7 29.2%	0 0.0%	2 4.9%	2 5.4%	3 12.5%	1 3.0%	4 13.3%
6~10人	29 12.8%	5 20.8%	2 5.4%	1 2.4%	5 13.5%	4 16.7%	6 18.2%	6 20.0%
11~20人	65 28.8%	4 16.7%	14 37.8%	15 36.6%	6 16.2%	6 25.0%	11 33.3%	9 30.0%
21~30人	32 14.2%	2 8.3%	11 29.7%	8 19.5%	5 13.5%	1 4.2%	3 9.1%	2 6.7%
31~50人	34 15.0%	4 16.7%	5 13.5%	6 14.6%	6 16.2%	3 12.5%	6 18.2%	4 13.3%
51人以上	47 20.8%	2 8.3%	5 13.5%	9 22.0%	13 35.1%	7 29.2%	6 18.2%	5 16.7%
合 計	226 100%	24 100%	37 100%	41 100%	37 100%	24 100%	33 100%	30 100%

3. 調査結果

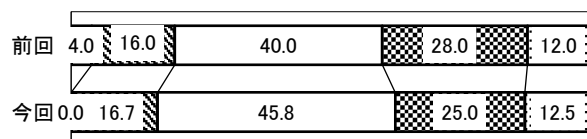
(1) 受注量について

(%)

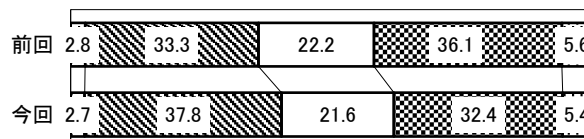
①全体



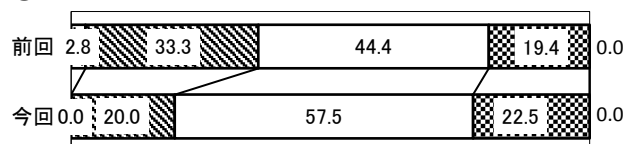
②鉄鋼・非鉄



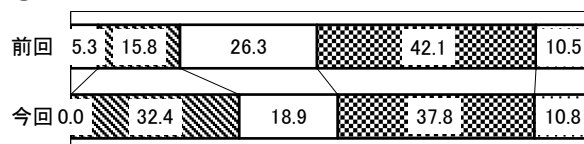
③金属製品



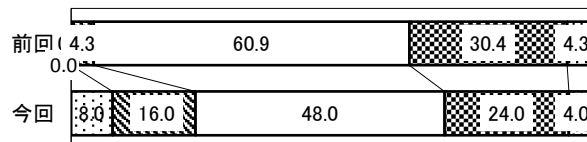
④一般機器



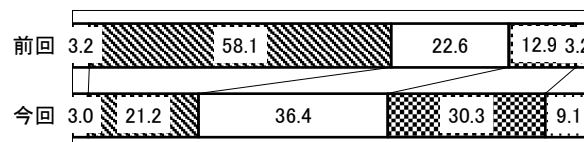
⑤電気機器



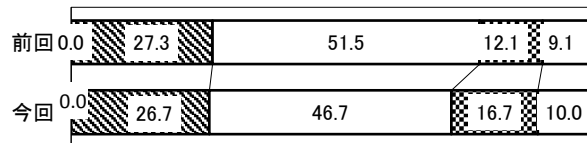
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



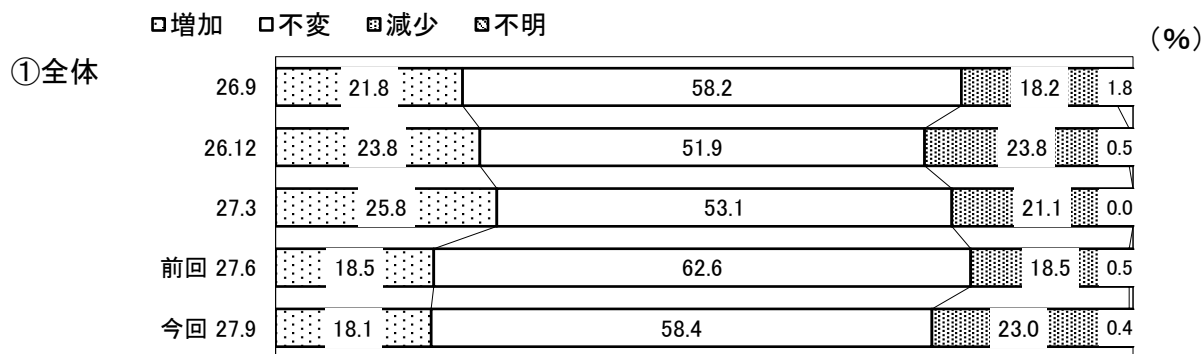
○全体

- ・7月～9月期の受注量の業況判断DI（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲7.5となり、前期（4月～6月期）のDI▲1.8と比べ5.7ポイント低下した。
- ・前期と比較したDIの増減は、業種によるばらつきがある。

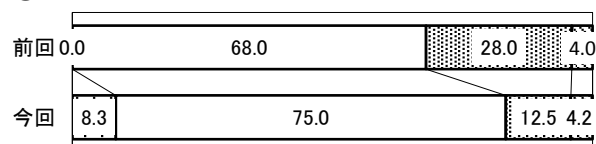
○業種別

- ・業種7分類中DIがプラスであったのは金属製品(2.7)のみで、樹脂製品がDI±0、他の5業種のDIはマイナスである。
- ・DIを前期と比較すると、金属製品(8.3)、電気機器(15.3)、輸送用機器(26.4)の3業種が上昇しており、鉄鋼・非鉄(▲0.8)、一般機器(▲19.2)、精密機器(▲60.4)、樹脂製品(▲6.1)の4業種が低下している。
- ・精密機器は、前期DI 15.2からDI▲45.2まで60.4ポイントと著しく低下した。
- ・輸送用機器は「増加」「やや増加」と回答した企業が増加し、前期DI▲30.4からDI▲4.0まで26.4ポイントと大きく上昇した。

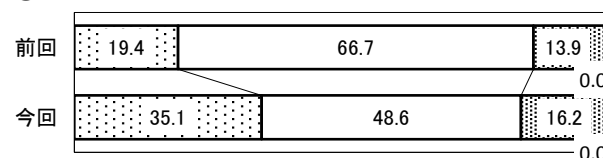
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



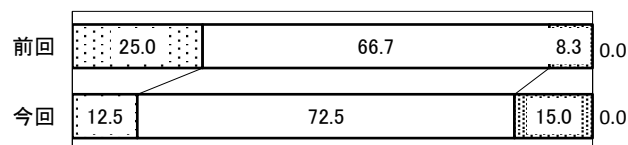
②鉄鋼・非鉄



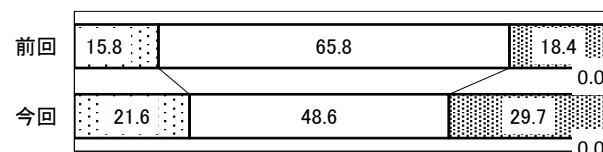
③金属製品



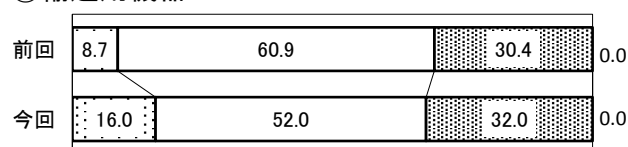
④一般機器



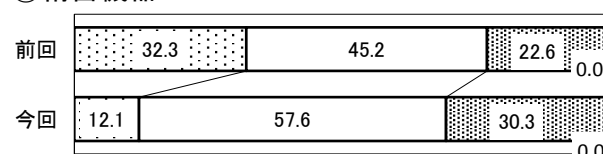
⑤電気機器



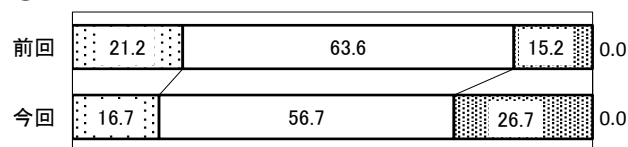
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



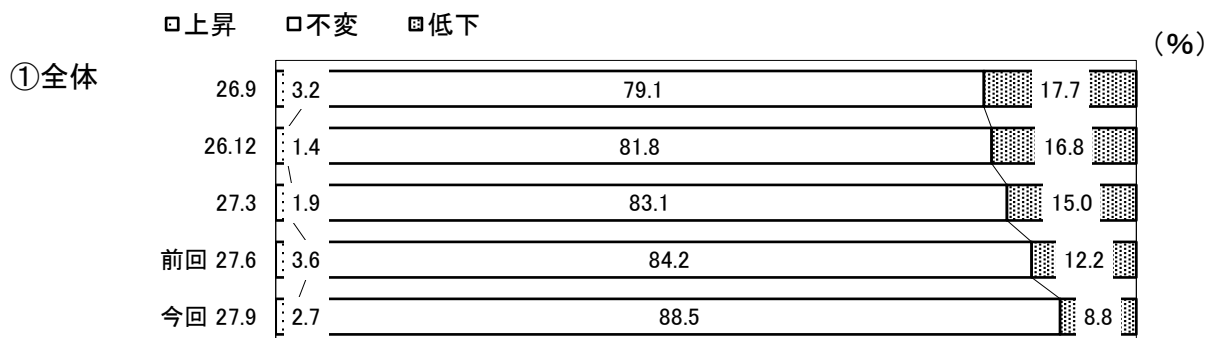
○全体

- ・次期（10月～12月期）の受注量見通しの業況判断DI（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲4.9となり、前期調査時のDI±0に比べ4.9ポイント低下した。
- ・前期と比較したDIの増減は、業種によるばらつきがある。

○業種別

- ・業種7分類中DIがプラスであったのは金属製品(18.9)のみで、他の6業種のDIはマイナスである。
- ・DIを前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(23.8)、金属製品(13.4)、輸送用機器(5.7)の3業種が上昇しており、一般機器(▲19.2)、電気機器(▲5.5)、精密機器(▲27.9)、樹脂製品(▲16.0)の4業種が低下している。
- ・金属製品と電気機器は、「増加」・「減少」共に増加している。

(3) 受注単価について



②鉄鋼・非鉄

前回	12.0	80.0	8.0
今回	12.5	83.3	4.2

③金属製品

前回	0.0	94.4	5.6
今回	0.0	91.9	8.1

④一般機器

前回	8.3	80.6	11.1
今回	2.5	92.5	5.0

⑤電気機器

前回	2.6	81.6	15.8
今回	0.0	81.1	18.9

⑥輸送用機器

前回	0.0	82.6	17.4
今回	4.0	92.0	4.0

⑦精密機器

前回	0.0	77.4	22.6
今回	0.0	81.8	18.2

⑧樹脂製品

前回	3.0	90.9	6.1
今回	3.3	96.7	0.0

○全体

・7月～9月期の受注単価の業況判断DI（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲6.1となり、前期（4月～6月期）のDI▲8.6と比べ2.5ポイント上昇した。

・「低下」と回答する企業の割合が調査ごとに減っており、受注単価は下げ止まり傾向が続いている。

○業種別

・業種7分類中DIがプラスであったのは鉄鋼・非鉄(8.3)、樹脂製品(3.3)の2業種であり、マイナスであったのは金属製品(▲8.1)、一般機器(▲2.5)、電気機器(▲18.9)、精密機器(▲18.2)の4業種である。（輸送用機器はDI±0）

・DIを前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(4.3)、一般機械(0.3)、輸送用機器(17.4)、精密機器(4.4)、樹脂製品(6.4)の5業種が上昇しており、金属製品(▲2.5)、電気機器(▲5.7)の2業種が低下している。

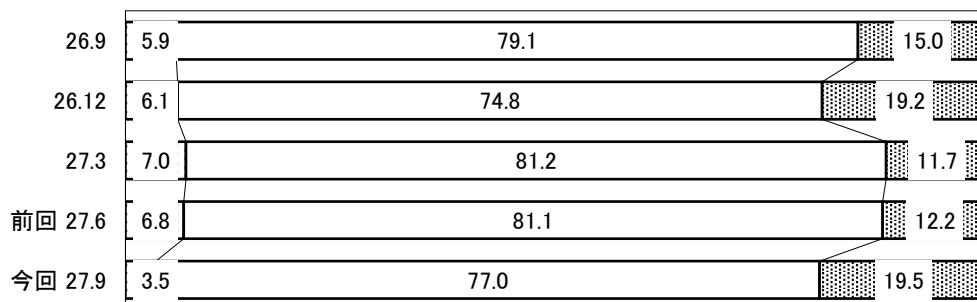
・輸送用機器で「低下」と回答した企業の割合は前期17.4%から4.0%となり、13.4ポイントと大きく減少した。

(4) 資金繰りについて

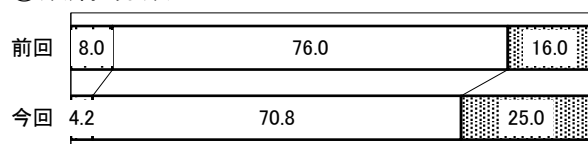
(%)

①全体

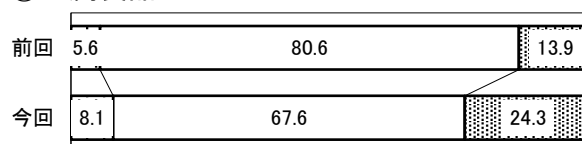
□好転 □不変 □悪化



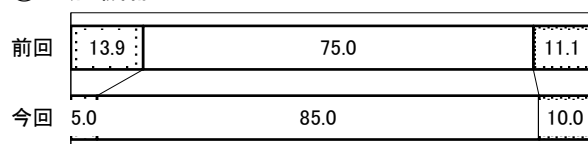
②鉄鋼・非鉄



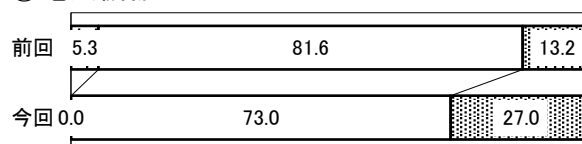
③金属製品



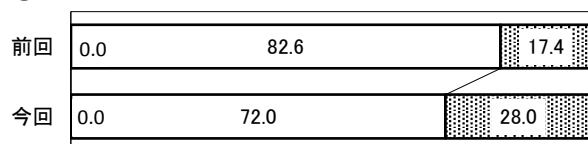
④一般機器



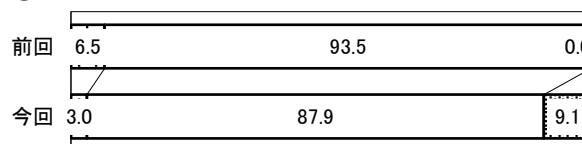
⑤電気機器



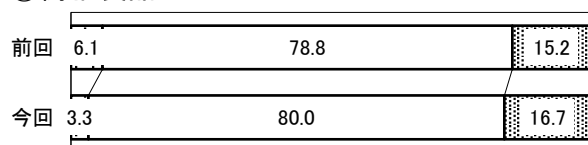
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・7月～9月期の資金繰りの業況判断DI（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲16.0となり、前期（4月～6月期）のDI▲5.4と比べ10.6ポイントと大きく低下した。

○業種別

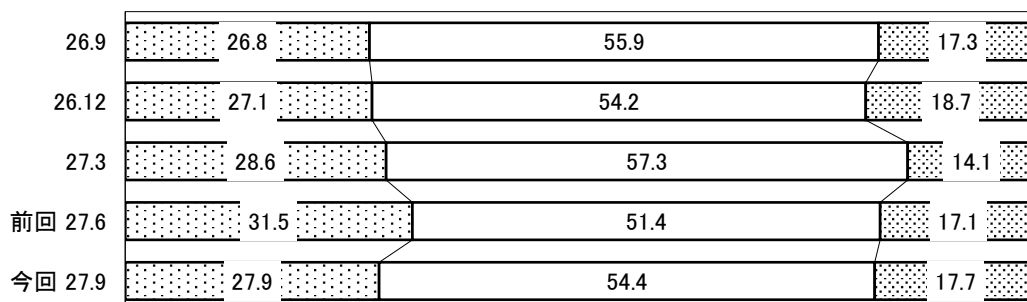
・業種7分類中すべてでDIがマイナスとなっている。（前期はDIプラスが一般機器(2.8)、精密機器(6.5)の2業種あった）
 ・DIを前期と比較すると、すべての業種で低下した。中でも鉄鋼・非鉄(▲12.8)、電気機器(▲19.1)、輸送用機器(▲10.6)、精密機器(▲12.6)の低下が大きい。

(5) 採算状況について

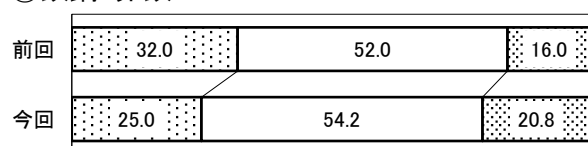
(%)

①全体

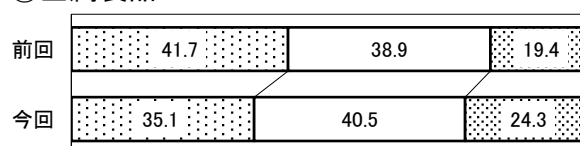
□黒字 □収支トントン □赤字



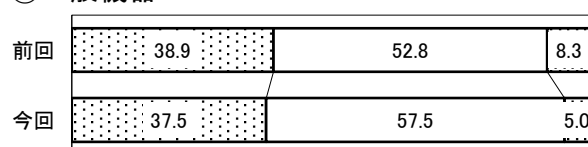
②鉄鋼・非鉄



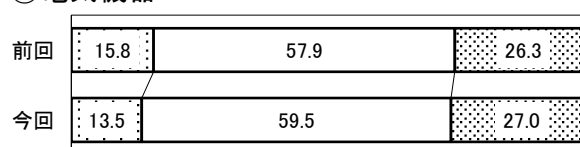
③金属製品



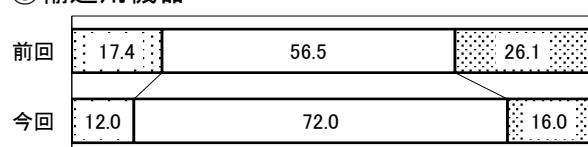
④一般機器



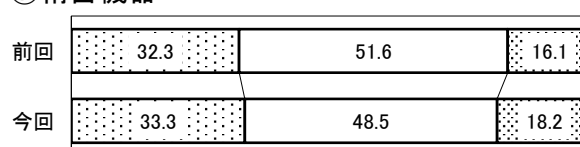
⑤電気機器



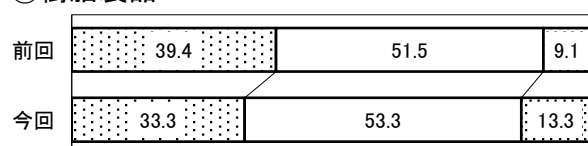
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・7月～9月期の採算状況の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は10.2となり、前期（4月～6月期）のDI 14.4と比べ4.2ポイント低下したものの、大きな変化は見られない。

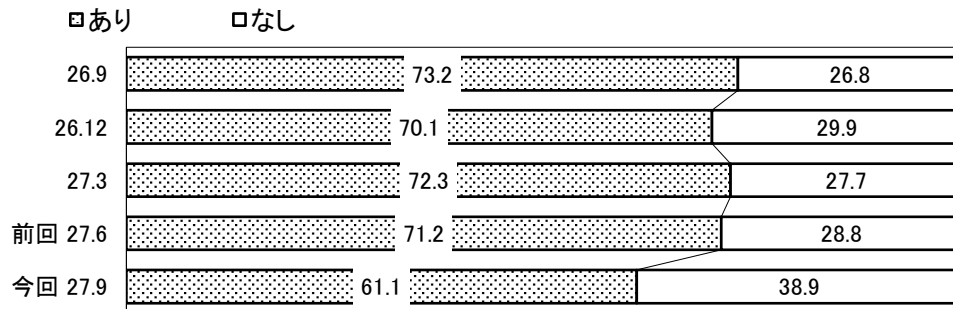
○業種別

・業種7分類中DIがプラスであったのは鉄鋼・非鉄(4.2)、金属製品(10.8)、一般機器(32.5)、精密機器(15.1)、樹脂製品(20.0)の5業種であり、マイナスであったのは電気機器(▲13.5)、輸送用機器(▲4.0)の2業種である。
 ・DIを前期と比較すると、一般機器(1.9)、輸送用機器(4.7)の2業種が上昇しており、鉄鋼・非鉄(▲11.8)、金属製品(▲11.5)、電気機器(▲3.0)、精密機器(▲1.1)、樹脂製品(▲10.3)の5業種が低下している。

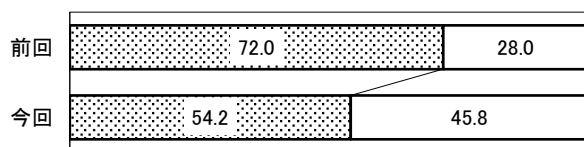
(6) 受注余力について

(%)

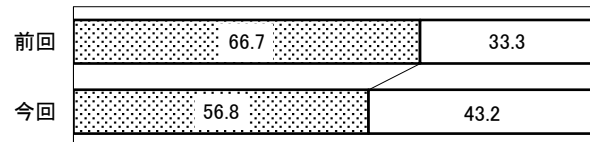
①全体



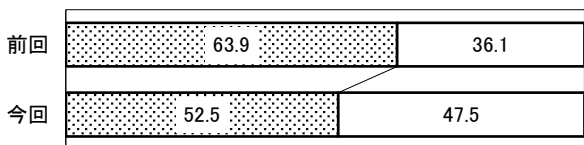
②鉄鋼・非鉄



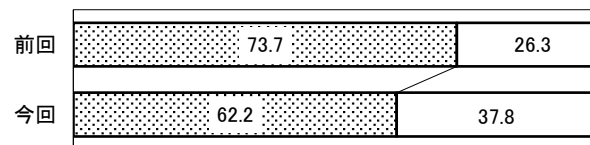
③金属製品



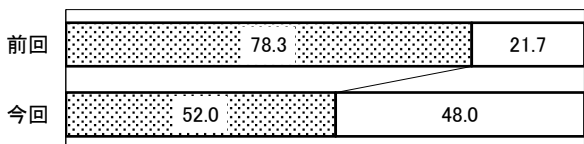
④一般機器



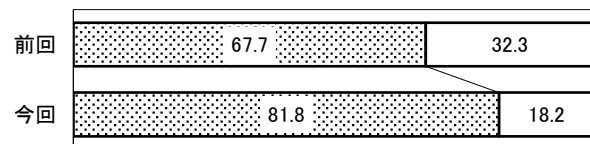
⑤電気機器



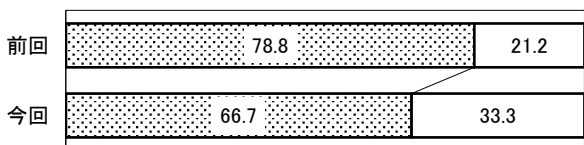
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・7月～9月期は「受注余力なし」とする企業が増加し、38.9%と前期と比較して10.1ポイント上昇している。

○業種別

・業種7分類中すべてで「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っているものの、前期と比較すると、精密機器(14.1ポイント増)を除いて「受注余力あり」の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 313-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp